

# 石山・芸術の森地域 芸術の森部会 ニュース

石山・芸術の森地域では、平成26年度に「石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会」を設置し、それ以降、地域の4小学校を対象に学校規模適正化についての検討を進めてきました。また、平成27年度からは「石山部会（石山小学校・石山南小学校）」と「芸術の森部会（常盤小学校・石山東小学校）」に分かれて、より具体的な検討を進めています。

～ このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています ～

## 第12回芸術の森部会について

7月4日（水曜日）午後6時から、石山東小学校で第12回芸術の森部会を開催し、今年度の検討スケジュールや新設校の校名検討の方法について検討を行いました。

## 地域の皆さまから寄せられた意見（報告）

2月に開催した第11回芸術の森部会以降、地域の皆さまから寄せられた意見はありませんでした。

## 小中一貫教育モデル研究校の指定について（報告）

事務局から、以下の報告がありました。

- 芸術の森部会からいただいた「意見書」にも要望のあった「小中一貫教育モデル研究校」について、常盤中学校・常盤小学校・石山東小学校の3校で指定された。
- 研究校の指定は平成30年度から2年間となっている。
- 現在は、上記3校と教育委員会で、小中一貫教育の土台となる「どのような子どもたちの姿を目指すか」という、理念の共有を丁寧に進めている。
- 今後の具体的な取組については、適宜この部会でも報告を行う。

## 学校設置条例の改正について（報告）

事務局から、以下の報告がありました。

- 平成30年9月から開会予定の札幌市議会において、「札幌市立学校設置条例」の改正のための準備を進めている。
- 条例の改正は、平成31年度秋以降に予定される新設校の新築工事にあたり必要となるもの。

※ 右記条例改正後、校名が決定した際には、改めて正式な校名へ条例改正を行います

※ 右記はあくまで事務局の想定であり、札幌市議会の審議等により、内容・時期は変更となる可能性があります

### 【改正の概要】

- ・「常盤小学校」と「石山東小学校」を統合し、「芸術の森地区新設小学校」（仮称）を新設
- ・新設校の開校は平成33年4月

## 新設校の工事について（報告）

事務局から、以下の報告がありました。

- 新設校のイメージ図が完成した。
- 昨年の測量により、学校用地に対する越境等が判明している。今後は広場を閉鎖し、土地の整理や必要な調査、軽微な工事などを行う予定となっている。

### ■ 新設校イメージ図



※ 今後の設計により、変更になる可能性があります

### 【常盤地区体育振興会・各少年団・地域の皆さま】

新設校建設予定地である「ときわスポーツコミュニティ広場」における、設置物の撤去や移動につきまして、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

## 今年度の検討スケジュールについて

事務局から、今年度の検討スケジュール案の説明がありました。

- 部会は全3回（7月・11月・2月）の開催を想定している。
- 主に「新設校の学校名の検討」と「常盤小学校及び石山東小学校の跡活用」を検討いただきたい。

## ◆委員から寄せられた意見など

- このスケジュール案でいいのではないかと。開校まで3年を切っている。今年度中に校名を決定することを目標としたい。
- 具体的な検討も多く、率直な意見を出し議論を行いたい。

## 校名の検討方法について

事務局から、校名検討の参考として他地域の事例紹介がありました。

### <真駒内地域の検討事例>

- ・真駒内地域では、平成24年度に4校（真駒内小、真駒内南小、真駒内曙小、真駒内緑小）を統合し、新設校2校を開校
- ・統合に関する検討委員会が閉会していたため、校名検討委員会を新たに設置し、全3回の検討で校名を決定
- ・新設校の校名は公募を実施  
公募対象：4校の児童・保護者、地域住民等  
公募期間：約1か月間
- ・校名検討委員会で検討の結果、新設校の名称を「真駒内公園小学校」と「真駒内桜山小学校」に決定

### <上野幌・青葉地域北側地区の公募方法事例>

- ・上野幌・青葉地域北側地区では、「上野幌小」と「青葉小」を統合し、平成32年4月に新設校を開校予定。現校名が全く異なる検討事例として紹介
- ・応募用紙を児童、保護者に配布するほか、地域に抜取りの回覧を実施。その他、まちづくりセンターや児童会館等にも配架
- ・「上野幌」や「青葉」が入らない「新しい校名」の公募を実施。公募期間が終了し、現在校名について部会で検討中

## ◆委員から寄せられた意見など

### <公募についてのご意見>

- この地域でも公募すべきだと思う。みんなに参加してもらうことで、伝わりやすく、公平なものになると思う。
- 他の地域でも校名検討に参加してきたが、どこも公募してきた。校名に込めた理由などを見ていくと、おのずと新設校にふさわしい校名を選べると思う。
- 人気投票や数で決めるのではなく、検討の材料としてみんなに意見を聞くということであれば、公募がいいと思う。
- 小学生だけでなく、卒業生でもある常盤中学校の生徒にも応募用紙を配布してほしい。

#### (事務局回答)

部会のご意見として、常盤中学校と調整させていただきます。

- 地域への周知・公募用紙については、抜取り回覧を行い協力したいと思う。
- 地域回覧にかかる時間や、子どもたちが考える時間も考慮して、公募期間は1か月くらいを目途としたい。

## <校名の検討に関するご意見>

- 公募しても、数で決めるのではなく、小さな意見にも耳を傾け、いい意見を採用していきたい。「子どもたちの学校」であることから、検討にあたっては子どもたちやそれを支える保護者の想いを大事にしたいと思う。
- この地区の新設校は対等な統合により誕生する。数や地域、場所などに影響されることなく、心機一転新たな校名にすることが子どもたちにとっても良いと思う。
- 「常盤」という名前への強い思いを聞くことがある。そういった考えもよく聞いたうえで、最終的に公平に決めた方がいいのではないか。
- 石山東にも校名を残したい気持ちが本当はある。だが、常盤に新設校が建つので、一步引かざるを得ない、という雰囲気を感じてしまう。石山東としては、新たな校名を希望したい。
- 一番気になるのは、新設校に来た子どもたちがどのように感じるか。新設校の校名にどちらかの校名の色が強く残った場合、一方の子どもたちに強い喪失感を与えるのではないか。やはり、新しい校名が必要だと感じる。
- 「常盤」や「石山東」が入らない校名のほうが子どもたちもすんなりと一緒に過ごせるのではないか。また、親自身もどちらかの校名がつくことでお邪魔しているような意識が出てしまう。
- この地域に長年住んでいる方々の「校名を残したい」という気持ちも受け止めるような公募方法がいいのではないか。
- 一方で、両校区の間には児童数はもちろん、住民の数にも大きな差がある。
- 子どもたちが一生懸命考えた結果、現在の校名を残した案を出すこともあると思う。今話している「新しい校名」を検討するとき、それを外すのであれば、最初からその旨をしっかりと示すことが、子どもたちのために必要ではないか。
- 他地域での事例のように「現在の校名は使用しない」とすれば、自身の意見を出せなくなる人がいると思う。あくまで自由に応募していただき、最後はそれを「数」ではなく、この部会で新設校にふさわしい校名を決定すればいいのではないか。
- 新設校が開校したときに、地域全員でお祝いができるような校名検討の進め方ができればと思う。
- 2つの学校を1つにするのは大変。どれだけ配慮しても小さい規模の学校が「お客さん」の意識を抱いてしまう。そうならないような校名にしたい。

- 統合にある程度の吸収感はつきもの。規模が小さな学校ほど、一歩ひいてしまうところがある。その感覚を払拭するのは大変なこと。そのためにも、校名などに配慮することが第一歩であり、大切なことと思う。
- その一方で、例えば「常盤や石山東は使用できない」と記載すれば、地域の自由な意見を制限することになる。意見はきちんと受け止め、「その校名がなぜいいのか?」といった理由を検討に活かしていくべきではないか。
- 他地域で現在の校名は使用しないという方針もあったようだが、この地域は様々な思いを自由に聞く形がいいのではないか。
- 様々な意見が出たが、まずは公募で色々な意見を広く求めることができればと思う。そこに込められた想いや意見なども考慮しながら、この部会で最終的な決断、「新しい学校」の「新しい校名」を決めていきたいと思う。

## 決定事項

第 12 回芸術の森部会では以下を確認しました。

新設校の校名について公募を行う

公募により出てきた案をもとに、  
芸術の森部会で検討を行い、新設校の校名を決定する

## 今年度の検討委員 一覧

今年度の芸術の森部会は、下表の 16 名で運営していきます。

団体名	氏名	氏名
芸術の森地区 連合会	【部会長】 佐久間 久幸 (会長)	大野 勝 (副会長)
	下総 仁志 (副会長)	佐藤 優司 (副会長・芸術の森東地区スポーツ振興会)
	山屋 忠意 (会計部長)	白木 義克 (体育部長・常盤地区体育振興会)
	齊田 雅也 (監事)	川島 真由美 (まちづくりセンター職員)
常盤小学校 PTA	中野 吉朗 (会長)	澤村 和美 (副会長)
石山東小学校 PTA	船田 幸治 (会長)	小笠原 由利子 (副会長)
学校長	藤島 健志 (常盤小学校)	小松 靖一 (石山東小学校)
有識者	大室 道夫 (藤女子大学教授・統合経験者)	北嶋 雅見 (司会)

また、部会長の佐久間委員から、芸術の森地区連合会環境衛生部長 (見晴町内会会長) の中田たみ子氏の委員追加の提案があり、全会一致で承認されました。

次回 (第 13 回部会) から中田氏にもご参加いただきます。

# 「新しい小学校」の「新しい校名」を公募します

以下のとおり、9月ごろから新設校の校名案を公募いたします。

皆様からのたくさんのご応募お待ちしております。

## ■ 応募用紙

(両小学校の児童・保護者、常盤中学校の生徒の皆さま)

8月下旬から9月上旬を目途に、各学校を通じて応募用紙を配布します。

(芸術の森地区にお住まい・お勤めの皆さま)

9月以降、各小学校や常盤児童会館、芸術の森地区まちづくりセンター等に応募用紙を配架します。

また、町内会の皆さまのご協力のもと、各戸抜取りの形式で回覧をいたします。

## ■ 応募方法

事務局への郵送・FAX・E-mailのほか、各小学校や芸術の森地区まちづくりセンターにご提出ください。

## ■ 応募期間

応募開始から1か月程度。

## ■ 注意点

- ・ご応募は一人様一案限りとさせていただきます
- ・聞き取り誤り等を避けるため、電話でのご応募はご遠慮ください

～詳細については、応募用紙をご覧ください～

## 第13回芸術の森部 会について

第13回の芸術の森部会は、11月ごろの開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

### ■ 石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局 ■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル

TEL 011-211-3836 / FAX 011-211-3837 / E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載します。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>